



成績上げたい！

どうすれば…

結論↓「松進の指導を実行」

学力を上げるキーは
・私たちのアドバイスを実行する
これがすべてです。

「学力を伸ばす勉強方法」や「学習時間を毎日確保しないと伸びない」ことなどを柱に私たちは様々な指導をしています。

他に「集中」や「保護者の子どもへの接し方」、「学校生活」なども学力向上に関わる大事な要素になりますが、今日はこれらの中で「勉強方法」について少し違う角度から話してみたいと思います。

入塾してくる学生の大多数に言えることは、間違った勉強法で学習している事です。そこを改善することから私たちの指導が始まります。

私たちが指導している学習法に間違いがないことは、その学習方法を徹底した学生がテストや入試で証明してくれています。



次のことから間違いがないことがわかります。
松進の指導法に疑問を持たれ、意気込んで私たちに接してくる教育関係者が何人も過去にありました。が、私たちの指導法が深い意味を持っていることを知り、最後は納得しておられたことも。

このように確かな勉強法なので、学生がしてきた今までの勉強方法を松進の学習方法に変えることは容易ではありません。
習慣になってしまっているからです。

松進方式で勉強をし始めて充実感を感じたり学力が付き始めたのに、いつの間にかやってはいけな勉強法に戻ってしまう学生もいます。

こんな学生もいます。
「基礎の暗記に時間をかけているより、この問題集からそっくり問題がテストに出そうだからそっちを勉強しよう」と
と考える学生です。

非常に浅い考えです。単語も知らない、公式もすっかり覚えていない状態でどうやってテストの問題を解くのでしょうか。

間違った方法で勉強をしていても学力は伸びませんし、テストで満足いく結果を得られません。

私たちは「この子を絶対に伸ばす」と指導を続けていますが、心の中でいつも叫んでいます。

「とにかく言う通りにやってくれー！実行してくれー！」

「親はアドバイスをなぜ実行してくれないのかな？」

「実行していないのに、成績が伸びないなんて言わないでくれー！」

学力をつけるには確かな指導者のアドバイスを耳を傾ける、あとは「忍耐」をもって実行することです。

塾生の皆さん、保護者のみなさん！松進は伸ばす方法を知らずにただ教えているだけの学習塾ではありません。

他が気づいていないことに気づいている塾です。



私たちのアドバイスを実行するだけで良いのです。

是非、実行を！

入試特急便

◆広がる学科改編

AI・データサイエンス・環境問題など、急速に変化する社会に対応するため、大学では新しい学部・設置や学科改編が進んでいます。

一つの専門に特化した従来の学科では、複数の分野を横断的に学ぶのが難しくなっていることが、その背景の一つです。

このため、多くの大学が「融合型」や「総合型」の学科・コースを新設し、より柔軟な学びへと転換しています。

高校でも、第4通学区の岡谷工業高校と上伊那農業高校で26年度から学科改編が行われたり、長野県の各地で高校の再編成が着々と進んでいます。

◆変わる私大入試

近年、私立大学では、総合型選抜や学校推薦型選抜など、いわゆる「年内入試」によって入学する学生の割合が、全体の約6割に達しています。

26年度入試からは総合型選抜・学校推薦型選抜において、小論文・面接・実技などの評価方法と組み合わせることを条件に、教科・科目に関する個別学力試験（学科試験）を2月1日より前に実施できるようにになりました。

このルール変更により、学力試験を含む年内入試を実施する大学は今後さらに増加し、選抜方法の多様化が一層進むと考えられます。

入試時期の早期化に伴い、受験スケジュールの前倒しや準備期間の短縮は避けられません。

「入試はまだ先」と考えるのではなく、最新情報をこまめに確認し、早めの準備を進めることが大切です。



松進のしんしん

毎年大好評の？松進ハロウィンウィーク。

先生たちが仮装をして授業をやっています。

ウキウキしながら部屋に入ってきたユウシ先生。



「おー！いつものユウシと変わらんじゃん！(笑)」と大槻先生。

「ひどい！(涙)」

「その格好でココスに行っておいもパフェを食べている姿を見たいな(笑)」とヨッシー石川先生。



「ところで〇槻先生、赤ずきんちゃんですか？」

「デビルだよ！デビル夫人だよ」と腐ったギャグを一発。(笑)



大槻先生を見てテレビで塩尻駅の狭いソバ屋でソバを注文しているジャガーさんを思い出しました。



あの時、ジャガーさん、狭いスペースに無理して入ったのでコスチュームがバリバリ壊れてた。(笑)

あ！何やらガシャガシャといううるさい音が。

ドアをぶち壊すような勢いで、三沢先生をかかえた化け物が入ってきました。



「何ですかそれは」

「みんな、助けてくれ」

「助けませんけど、それ、よくできていますね」

「階段を踏み外さないようにしてくださいよ」

と一応、心配するふりをする先生たち。

「コバヤンの着ているものは、ホラーポッター？」

「ホラーポッターって、頭、大丈夫です？？ハリーポッターです。ホラ、魔法の杖もあるでしょ」

「小林君、ちよつといいかな、何か魔法やってみる？」と無理を言う三沢先生。



「うーん…ちよつと…電池切れで今日は無理っぽいです(汗)」

「三松先生は、トランプですか？」

「そう、トランプ！すごい？」

「どこがすごいんです？」



「ワタクシが着ているからプレミアムが付いてスゴイはず！」

と意味がない自慢をする三松先生。

「ハイハイ」

「ピーチ姫、♪どんだけ〜！」と一人つぶやくマリオ藤河先生。



「石川先生、今年の仮装をネッシーにしたんだね」

「あ、ネッシーじゃないんですけど。ヨッシーですけど……」

お父さんお母さん、仮装をしても真剣に授業をしていますので心配しないでください。